

京都ふるさと集い

連合会ニュース

第11号

発行所

「京都ふるさと集い連合会」事務局

京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都新聞文化センター

企画サービス部内

郵便番号 604

電話 075(222)2323 (直)

FAX 075(222)1956



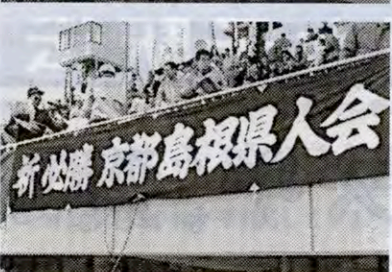
第6回全国女子駅伝

「郷土のタスキ、飛ぶ声援」

ママさんランナーも走った。看護婦さんも力走した。OL、高校生、中学生も―第六回全国都道府県対抗女子駅伝(日本陸連・京都新聞社主催)は一月十七日、郷土のタスキを肩にした全国四十七都道府県の選手が、冬枯れの街路樹を揺がせるかのように都大路を駆け、白熱のレースを展開しました。



紙上再見



歓迎

ことしの入洛第一陣は大会一週間前の北海道。各チームもこれに続き大会二日前までには四十六チームがそろいました。各県人会ではJR京都駅まで選手を出迎え、マイクロバスで送迎したり、必勝祈願のお守りを贈るなど心のこもった歓迎ぶり。岐阜、島根、石川県人会などは激励会を開き、緊張気味の選手をリラックスさせていました。



入洛一番乗りの北海道チーム



秋田チームに歓迎の花束を



石川チームには県人会役員が激励



市比売神社で山形チームが必勝祈願



女子駅伝

絶好の駅伝日和に恵まれたこの日、スタート・ゴールの西京極陸上競技場や沿道には、約七十五万人が詰めかけ応援しましたが、中でも各県人会の声援、ぶりは例年にない激しさ。これにこたえて各選手も必死の走り。優勝こそ地元・京都勢に譲ったものの神奈川、鹿児島がゴール寸前まで二位争いを、また熊本が十人抜きで四位に食い込むなど、今大会も数々の「華やかな闘い」を演出、ソウル五輪、京都国体を控えたスポーツ・イヤーの幕開けにふさわしいレースでした。

白熱の声援ドラマ



大ダコで氣勢

西京極競技場のスタンドはじめ折り返し点、沿道など随所で、各県人会は趣向を凝らした大声援を送りました。新潟県はスタンド正面にふるさとの「白根大風合戦」用の布製大風(たこ)を張り出し、氣勢を挙げ、昨年五月に発足した沖縄県人会は、県人会としては初の応援体制を組み、青年部を中心に二百人以上がかけつけ「駅伝で心をひとつに」。

交流

戦い終わって、都大路で繰りひろげられた感動のドラマの後は、県人会と選手たちの交流。慰労会を開催した秋田、宮城、岩手、山形、静岡、熊本、鹿児島、写真などの県人会は、選手たちの健闘をねぎらったあと交歓、お国言葉で懐かしい郷土の話を花を咲かせました。



ふれあい 県人会

(10)

「ドラマやなあ、本当にドラマや…」芝居好きの私はその日、劇場の客席にいるときのように、目前に繰りひろげられる光景に何度か胸をうつくしながら、口の中でつぶやき続けていた。

その日というのは女子駅伝の行われた一月十七日である。今回の会報は女子駅伝特集になるので、私もそれに愚れ工夫をこらしていることがのりして従来とは少し調子を变えて女子駅伝と県人会について書いてみようと思う。これまで五回的女子駅伝はもっぱら自宅のテレビで見せてもらっていた。わが家がコースの近くにあるので近くを通る時間だけ、街頭へ出て雰囲気を感じて最初から何かワクワクさせられた。

いた。県人会とのつながりが深まってからも、女子駅伝後の会合は数が多いこともあってお誘いをすべて断ってきた。今年はどうした心境の変化か、各県人会が一生懸命に応援しておられる現場を見ておかなければ…と西京極競技場に出かけていった。昼前、競技場に着いて、メインスタン

ードはいよいよ盛り上がりが出ていく。昨年、県人会を結成したばかりの沖繩県人会の座喜味会長とも会った。「どこかに集まればよかったのです、皆あちこちに散らばっているようです」と仲間を探している様子。いつも最後の方

選手も 応援も

ドラマやなあ



県人会の仲間たちでにぎやかな西京極競技場スタンド

選手たちが外へ出てゆくこと、選手たちがグランドに出て紹介されると、あちこちの群れから声援が飛んで、どこの県人会がどこにいるのかよく分かった。いよいよスタート。

の町の中を懸命に走る選手たちの移動とともに、街頭でいろいろなドラマが展開されたことと思うが、残念ながらそれを体験することは出来なかった。やがて京都をトッブに選手たちは再びグランドに戻り、レースは終わっ

を見せた。あまり好成绩でなかったせいだけれども女子駅伝のことには触れない。松田会長も「今年は京都で国体がありまのでよろしく」といっただけ。今川市長が「テレビを見ていたら青森県は譲渡の美德を發揮されたようです」とさりげなく話を持ち出す。少し遅れた時間から京都グランドホテルで始まった鹿兒島県人会の新年祝賀会。暗転の中を人場してきた選手たちの胸には好成绩を示すいくつかのカップやタテが輝いていた。あの競技場内までもつれ込んだ競り合い。この選手たちはまさにドラマのスターを演じたのだ。稲盛会長が選手やコーチら一人一人に記念品を贈って労をねぎらい、監督は「来年はもっといい報告を持って来たい」と胸を張っていた。強者には強者らしく、きらびやかで力強いドラマがあった。

で健闘している沖繩選手のこと

それをにつれて観客もいっせいに動きはじめた。北海道ク

とを思いながら「今年がんばってくださいよ」と励ました。昨年の県人会総会で「これまで一人で選手の宿舎へ激励に行っていたけど、県人会が出来たので来年は仲間と一緒にに行けるかと思うと、うれしくて」と喜びの声が出て

夕方、京都タワーホテルで青森県人会が近畿県人会と合同で懇親会を開いていた。県人会ではあまりお目にかからない今川京都市長が顔

を（多くの県人会からお誘いを受けながら、時間の関係で数県人会より顔を出せなかったことはまことに残念で深くおわびします）

（多くの県人会からお誘いを受けながら、時間の関係で数県人会より顔を出せなかったことはまことに残念で深くおわびします）

3月から瀬戸大橋博

ことし三月から八月まで香川県坂出市を中心に開催される「瀬戸大橋博88西国」をPRする観光キャラバン隊が、昨年十一月十三日に京都を訪れJR京都駅前で、観光客誘致のキャンペーンを繰り広げました。当日はハッピー姿の隊員がお国自慢の「五岳太鼓」II写真IIの披露や特産の讃岐うどんの配布なども行われましたが、勇壮に打ち鳴らされる五岳太鼓は、見物の京都市民らをつとてりさせ

キャラバン隊くり込む



妙心寺蟠桃院を訪れ、住職と勧談する伊達利子④と真美さん



昨年、ブームを呼んだ「独眼竜」の母利子さんと妹真眼電政宗、ゆかりの伊達家当主 美さんが、昨年十一月十八日、京都宮城東人会の佐藤健夫会長の案内で、京都市右京区・妙心寺臨濟宗妙心寺派大本山の塔頭、蟠桃院を訪れ、仙台藩士の墓にもつて、ねんごろにほだいをうりました。蟠桃院には仙台藩の京都屋敷に勤番中亡くなった藩士の墓十七基があります。そのうち四基に縁故者が分かり、去る六十年春には同県人会が遺族を招き、慰霊法要を営んでいます。

利子さんらは、大阪府の枚方公園で開かれていた菊人形展「独眼竜政宗」に招かれて大阪を訪れた帰路、墓参に立ち寄ったもので、清陀住職らと歓談のあと、紅葉の美しい山内を散策、京の秋を楽しんでいました。



京都長野県人会が
近畿県人会と交流

1月17日 女子駅伝の応援、選手歓送会に近畿長野県人会の役員らも参加しました。また1月23日の近畿長野県人会新年会には京都長野県人会の役員ら十人が初めて出席、お互いに交流を深めました。両県人会



全京都石川県人会の物故者法要

11月8日 下京区の光隆寺で営まれたあと、参加会員らの懇親会が持たれ、歓談が続きまし

藩士の墓まいり 「独眼竜」の子孫が入洛

昨年、ブームを呼んだ「独眼竜」の母利子さんと妹真眼電政宗、ゆかりの伊達家当主 美さんが、昨年十一月十八日、

京都宮城東人会の佐藤健夫会長の案内で、京都市右京区・妙心寺臨濟宗妙心寺派大本山の塔頭、蟠桃院を訪れ、仙台藩士の墓にもつて、ねんごろにほだいをうりました。



12月13日 婦人部発会式を兼ねて伏見区の料亭・醍醐で三十人が参加して開催。永末英一会長が「小さな輪を大きく広げてほしい」とあいさつを述べられ、このあと宮崎副会長からの永末会長、荒巻知事両夫人を婦人部顧問に就任していたべくよとのの発議を了承、さらに窪田アサ子理事を婦人部長に選出しました。続く親ばく会では生けす料理などを賞味、またカラオケ大会なども行われ、和気あいあいのうちに閉会しました。

県人会だより

京都秋田県人会総会

長(いづれも新)らを選任し1月17日 中京区の平安殿で会員約六十人がは女子駅伝の選手団も参加、出席して開かれ、役員秋田の銘酒「高清水」で鏡割り、祝杯をあげ、にぎやかな改選で小柳美代子会長(再)、佐藤福得、島崎千代美両副会

京都宮崎県人会の鴨料理を食べる会1月24日 琵琶湖に浜の南橋荘で十五人が参加して催されました。暖冬のことでしたが、当日は幸い(?)寒波の訪れで絶好の「鴨なべ日和」。参加のみなさんは名物の鴨料理に舌つづみを打ちました。



京都福岡県人会の郷土訪問旅行

11月19日 二十七人が参加して越前大仏、平泉寺を拝観したあと芦原温泉に一泊しました。翌20日は今立町の和紙の里、鯖江めがね会館などを訪ねまし



京都島根県人会総会

11月15日 東山区の八坂神社常磐殿で開かれ、比叡山三宝蓮住職の栢木寛昭氏の講演を聞きま



た。

京都福岡県人会婦人部発足に伴うグルメの会

ふるさと

紀行

(7)

長野県

JRで通勤途中、京都駅に着くと一番ホームに特急の「しなの号」が止まっている。線路の上に広がる青空を見上げながら、「このまま会社に行かず、この特急に乗りたるとどんなにいいだろう」と、何年間も思い続けてきた。長野県、というよりむしろ長野の山々は、大学時代から足しげく通った思い出深い所だし、山から下りて松本で食べる、サクラ肉の刺身やスキ焼きとぎたら、もう思い出しただけでもヨダレが出そうなのだ。

の、それでも、あの国光の味は忘れ難い。思い出と味が結びついているので、生半可な

ブラントンの「国家論」といった、京都の下宿にいては、まず読む気の起らないような（それだけ怠惰な学生だったわけだが）本を持ち込んで、一面のタバコ畑の中にある、大きな農家にお世話になった。本の内容など、とうの昔に忘れていたのに、あの時、

京都新聞文化部

不破 哲

これぞ究極の味覚

松本の国光・戸隠ソバ



白馬のペンション。新たな観光客誘致には役立っているのだが、

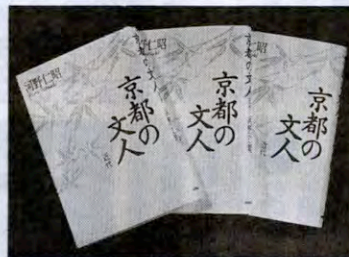
食べ物と話といえは、もう一つ、私がこれまで食べた一番つまいりんごは、松本のタクシー運転手にもらった小さな「国光」だ。ある年の秋、上高地へ岩登りに出掛け、帰り、タクシーに合い乗りで松本に下りたのだが、途中でタイヤがパンクして、雨の中をあれこれ手伝ったおれにくれたのだ。蜜のつまった、それでいてカリッと固い国光だ。最近はずまいりんごにあつて、それが多くなくなったもの

そのおはさんが打ってこれた太目のソバは今でもよく思ひ出す。野沢菜をお釜で煮、湯のみ茶わんのお茶が減ると、すくすく足すのが子供たちの役目。茶腹も一時どころか、お腹がチャポンチャポンになるまで、ついつい飲まされてしまう。信州人の、この

京都の文人

近代

河野 仁昭 著
定価 1500円
送料 250円
四六判上製331頁



京都という土壌を舞台に活躍した伝統文学の継承者たち。俳句会の新しい動きをへて、大正期に文壇を彩った文人学者や、ようやく活況を呈しはじめた同人詩誌のこと、さらに昭和前期の詩人群像から、現在の作家まで、47人の文学活動を展望した画期的な労作。

京都年鑑

'88

定価 7000円
送料 450円
B5判2分冊1270頁



人名録・企業録を別冊にし、より便利になった京都の最新情報を掲載した総合事典。
▼統一地方選挙、第43回京都国体準備スポーツ記録。
▼京都府・京都市・各市町村の一年の動向。
▼文化施設、観光レジャー施設、観光ガイド、文化財一覧。
▼10月下旬までの各種団体、人名録4800人企業要覧3500社の大名簿編。

同時発売

滋賀年鑑

'88

滋賀県 監修
定価 6000円
送料 400円
B5判2分冊980頁

京都新聞社

〒(〇七五)二四一六九二

お求めは、書店、京都新聞販売所または京都新聞文化センターへ。

各地方紙に掲載されている文化センター「地方紙閲覧コーナー」に常備の各紙をご覧のニュース・話題は京都新聞ください。

京都さぬき会の植樹に出席の安藤会長（左から3人目）と平井知事（その右）ら

二十九日、京都から安藤会長た

第43回 国体

冬季開会式に臨む府選手役員団



さわやか優勝めざし 府選手勢活躍

第43回国民体育大会は、アスロン競技会（岩手県安代町）が開催されますが、その競技大会に荒巻知事を団長たスケート、アイスホッケー、あとは、いよいよ京都国体（夏）に八十八人にのぼる選手役員競技大会（群馬県伊香保町・秋葉大会）へと引き継がれ、前橋市）でその幕をあげました。

2月下旬にはスキー、バイ、第43回大会の第一陣として、秋の三季大会の得点の総合点

総合優勝を目指す京都は、国体の総合成績は、冬夏、に期待されます。



昨年6月、荒巻知事が呼び掛けた歩く健康づくりは、世界的なウォーキングブームの潮流の中で、日に日に浸透しつつあります。

毎月23日の「歩民デー」では、府内のあちこちで「歩く」催しを実施されたり、府民運動推進協が募っている京都「歩く」連へは、現在約八十団

府民の総歩民化を

体三万人がグループ登録するなどをもて、府民の健康に対する関心の深さがうかがわれ、全府民が「歩民」になるのもそう遠くないでしょう。

なお、「歩く」連の詳細については府民運動推進協事務局（府国体局）075（255）3143までお問い合わせください。

によって順位が決まりますが、第43回国体の天皇杯、皇后杯を目指した闘いの火ぶたが切られたわけです。

さて、秋季大会での閉会式において、栄えある天皇杯、皇后杯を手にするのは、いずこか。

基盤整備も着々進む

活力ある府民生活を築こうと、京都国体を機に進められてきた生活基盤整備も着々と進められています。

その一つ、道路交通網の整備を紹介すると、長年、府民の念願であった国道9号バイパス（京都縦貫自動車道）の京都・亀岡間が2月17日完成するのをはじめ、京滋バイパスが8月に、さらに京奈道路の一部（城陽・田辺間）が9月に完成する予定です。宮福鉄道（7月営業開始）やJR各線の整備も進行し、京都国体のもう一つの効用と大いに期待されます。

新しい歴史に向かって走ろう

京都国体

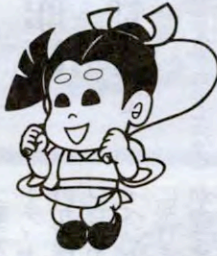
うるおいあるまちづくり

たくましい体をつくろう

豊かな心を育てよう



ジョギング



健康づくりにつとめよう



スポーツに親しもう



歩こう



花いっぱい
緑いっぱいにしよう

みんなで作ろう府民運動

●もうすぐ、春がやって来ます。花や緑が芽を出してきます。さあ、町や野山に出かけ、心と体をリフレッシュ!!